

自宅学習期間

2020. 1. 31

梁川高校では、1月28日（火）から1月31日（金）まで3年生は学年末考査期間であった。高校生活最後の定期考査である。3年生はすでに全員の進路が決まっている。一人一人どのような心持ちでテストに臨んだのだろうか。

3年生は明日から「自宅学習期間」となる。その間、2月14日（金）と2月28日（金）が登校日である。そして、3月1日（日）が卒業式である。今年度の卒業式は日曜日である。この自宅学習期間の1か月と3月の計2か月が、社会に出るまでの準備期間となる生徒が多い。

アルバイトをする生徒や自動車の運転免許をとる生徒がいるだろう。進学する生徒は、事前課題に取り組むかもしれない。あるいは、大学での勉強に備えて英語の学習をする生徒もいるかもしれない。気持ちの上ではゆったりできるかもしれないが、4月からの新生活を見据えて期待感が膨らむときもあれば、不安感が増大するときもあることだろう。いずれにせよ、今までの学校生活では経験していない2か月となる。

2か月というところ長い。やるべきことを絞って取り組めばそれ相応の成果を上げることができる日数である。私事で高校生には何の参考にもならないが、私もこの2か月を使って一つのことに取り組むことにした。それは“アルバムづくり”である。まめな親御さんならば、子どもの写真を整理してアルバムにしてあるだろう。我が家の場合は、子どもが小さい頃まではアルバムに収まっているが、それ以降は、写真はあるがそのまま、あるいはデータとしてパソコンに入っている状態である。もし、急に子どもから「こんな写真がほしい」と要求されてもすぐに取り出せる状況ではない。以前から写真の整理はしたいとは思っていた。だが、いつでもできる、そのうちやると自分に言い聞かせて、結局今までやってこなかった。

「思い立ったが吉日」先日、とりあえず棚に押し込めてあるアルバムや写真をすべて出してみた。その量の多さに愕然とした。そして呆然となった。加えてパソコンにも膨大なデータがある。これらを整理し、年ごとにアルバムに収めていく算段である。一筋縄ではいかない。私の性格上、実際の作業に入るまでに数日間を要するはずである。なぜなら、思い出の写真一枚一枚に見入ってしまうからである。存在している写真を一通り見るのにかなりの時間を要するはずである。この現象は、引っ越しのときにも起きる。慌ただしい引っ越しの最中に写真や手紙などを見つけたらもう作業ストップである。そこから進まなくなる。

地道なアルバムづくりになると思うが、いつかはやらなくてははいけない。毎日とはいわずやれる日に少しずつ作業を進めていき、2か月後にはたぶん終わっている計算である。一つことに長い期間にわたって取り組むことを苦手としている私としては無謀なチャレンジと言えるかもしれない。

本校の3年生も思い思いの2か月間を過ごしてほしい。このような時間は何度もあるものではない。貴重な時間である。来週からは1年生と2年生だけになる。3年生が登校してこないこと、校舎に明るい声が響かないことは寂しいかぎりである。だが、日に日に2年生と1年生が成長していく期間でもある。そのことを楽しみにしたい。